

# ENTRANCE GALLERY

2020年7月に拡張リニューアルオープンした千葉市美術館1階には、さや堂ホールを中心に、ミュージアムショップやカフェが新設されました。賑やかになったエントランススペースを舞台に、若手作家の表現を紹介するシリーズとして、「エントランス・ギャラリー」を開催します。

第1回では、コミュニケーションをテーマに制作活動が続ける江上越をご紹介します。会期中には、アーティストトークなどのコミュニケーションプログラムを予定しています。作品や作家とのコミュニケーションを通し、新たな表現への入り口を楽しんでいただけることを願っています。

江上越

vol.1

2020.11.3 tue - 12.13 sun

EGAMI etsu



1994年千葉生まれ。ドイツ HFG (The Karlsruhe University of Arts and Design) 大学、北京・中央美術学院に留学。海外での豊富な経験から誤聴、誤視、誤解、情報伝達におけるズレなどに関心を抱き、コミュニケーションの本質を追求している。現地調査、文献資料を通して言語学、人類学、哲学など様々な学問領域から言語の起源による人間の本能を探索しながら作品を制作している。主なグループ展に「VOCA展 2020」(上野の森美術館)、「Asian Art Prize 2019 Finalist」(香港大館美術館)、「第二回北京メディアアートビエンナーレ」(中央美術学院美術館)、主な個展に「In to the light... Etsu Egami solo show」(ドイツ)、「Dialogue beyond 400 years」(ロンドン)、「This is not a Mis-hearing game」(北京)、「対話4000年—江上越個展」(千葉市芸術文化新人賞受賞プロジェクト)、「にじいろ」(台北)など。

会期 | 2020年11月3日[火] - 12月13日[日] (休館日: 12月7日[月])

会場 | 千葉市美術館1階(ミュージアムショップBATICA、エントランススペース)

主催 | 千葉市美術館・BATICA

協力 | 岩沢兄弟、きてん企画室